

2019年1月21日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研 結婚総合意識調査2018

- 結婚を決めるきっかけでは、「適齢期」などの受動的要因より、「自分の意思」で決める人が増加傾向
- 男女の結婚観に違い。男性は「夫婦間の愛情の形」、女性は「人生や家族形成」
- 結婚を機としたセレモニー実施割合は85.6%、「全くの非実施」は14.4%にとどまる

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営するリクルートブライダル総研では、結婚や結婚式について詳細を把握するために、「結婚総合意識調査2018」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

<結婚に対する考え方>P3・4

結婚したきっかけにおいて、「適齢期」や「相手からの申し出」など受動的な理由よりも、「相手と一緒にいたい」などの自分の意思で結婚を決める人が増加傾向

- 結婚したきっかけの上位3項目は、「相手と一緒にいたいと思ったから」（16年 32.5%／17年 33.5%／18年 35.5%）、「適切な年齢になったから」（16年 24.9%／17年 26.1%／18年 24.0%）、「相手に結婚を申し込まれたから」（16年 18.7%／17年 17.3%／18年 17.2%）。

結婚に対する考え方において、男女で考え方に違い。男性は「夫婦間の愛情の形」であるとする割合が女性よりも高く、女性は「人生や家族形成」であるとする割合が高い

- 結婚に対する考え方において、「愛情さえあれば、結婚できる」は男性が26.4%、女性は16.3%で男性の方が10.0ポイント高い。一方で、「老後は家族（配偶者や子ども）がいた方がよい」が男性が64.6%、女性が80.0%で、女性の方が15.3ポイント高い。

<結婚式の実施状況>P5～8

85.6%が「結婚を機としたセレモニー」を実施し、「全くの非実施」は14.4%にとどまる

- 結婚を機としたセレモニー実施割合は85.6%（披露宴・披露パーティ：55.7%、挙式：9.2%、親族中心の食事会：17.0%、写真撮影：3.6%）。

挙式、披露宴・披露パーティ実施割合は64.9%。結婚時の年代が低いほど実施する割合が高い

- 挙式、披露宴・披露パーティ実施割合は64.9%。20代は72.7%、30代は65.8%、40代は41.5%。

再婚層の約4割は挙式、披露宴・披露パーティを実施

- 「新郎・新婦ともに初婚層」の挙式、披露宴・披露パーティの実施割合は70.7%、「いずれかまたは両方再婚層」の実施割合は42.9%。

妊娠層の半数近くは挙式、披露宴・披露パーティを実施

- 結婚を決めた当時、「新婦は妊娠していなかった層」の挙式、披露宴・披露パーティ実施割合は67.7%、「新婦は妊娠していた層」の実施割合は46.9%。

- ◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「結婚総合意識調査2018（リクルートブライダル総研調べ）」と明記いただきますようお願い申し上げます。
- ◆ 「結婚総合意識調査2018」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要と回答者のプロフィール】

■2018年調査

本調査(予備調査含む)

【調査方法】インターネットによるアンケート調査

【調査期間】2018年4月9日(月)～2018年5月31日(木)

【調査対象】“結婚した時期”を「2017年4月～2018年3月」と回答した、20～49歳の既婚者

【集計サンプル数】1500人(ウェイトバック後)

割付/ウェイトバック:「厚生労働省 人口動態統計の平成28年度婚姻件数」を基に全国を18エリア毎の婚姻件数比率に近くなるようウェイトバック集計を行った

【回答者の男女別結婚時の年齢×居住地域】

		北海道	東北	北関東	北陸甲信越	首都圏	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄
男性	20代(19歳含む)	10	12	10	15	59	19	28	14	6	28
	30代	15	15	14	33	120	35	59	21	13	41
	40代	5	18	14	14	55	15	33	6	1	16
女性	20代(19歳含む)	16	27	21	31	125	46	60	22	10	42
	30代	12	17	15	27	90	21	53	14	9	37
	40代	2	2	1	5	22	2	8	4	1	5

*「北陸甲信越・男性」「首都圏・男性」「関西・男性」「関西・女性」「中国・女性」「九州・沖縄・女性」の年齢について、結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1～2サンプルあり、年齢別分析では除いている

【注意点】

図表の構成比(%)は百分率で表示してあります。百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、図表の平均も小数第二位を四捨五入して表示してあります。

■過去調査の概要

	2017年調査:本調査(予備調査含む)	2016年調査:本調査(予備調査含む)	2015年調査:本調査(予備調査含む)
調査方法	インターネットによるアンケート調査	インターネットによるアンケート調査	インターネットによるアンケート調査
調査期間	2017年4月7日(金)～ 2017年5月2日(火)	2016年4月8日(金)～ 2016年5月30日(月)	2015年4月8日(水)～ 2015年5月7日(木)
調査対象	結婚した時期が「2016年4月～ 2017年3月」の20～49歳既婚者	結婚した時期が「2015年4月～ 2016年3月」の20～49歳既婚者	結婚した時期が「2014年4月～ 2015年3月」の20～49歳既婚者
集計サンプル	1500人	1500人	1500人
割り付け	厚生労働省「人口動態統計の婚姻件数*」を基に、18エリア毎の婚姻件数比率に近くなるようにサンプル数を割り付けた		

*2017年調査は平成27年度、2016年調査は平成26年度、2015年調査は平成25年度の件数

【回答者の男女別結婚時の年齢×居住地域】

	2017年調査						2016年調査						2015年調査					
	男性			女性			男性			女性			男性			女性		
	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代
北海道	7	17	5	15	11	4	6	15	13	13	10	7	8	13	10	8	19	3
東北	8	26	12	22	19	5	12	20	17	26	19	2	13	21	14	27	17	2
北関東	10	21	8	17	18	3	7	16	9	18	18	2	13	20	6	16	19	2
北陸甲信越	5	25	29	33	29	1	18	33	17	38	24	2	17	36	12	44	19	1
首都圏	47	111	79	118	102	16	46	129	63	117	103	15	58	116	61	118	93	23
東海	18	29	21	37	27	4	17	36	12	42	21	6	31	28	9	44	21	4
関西	34	56	30	63	52	6	18	79	27	66	46	9	31	60	30	58	52	12
中国	17	21	3	24	16	2	11	17	7	21	19	1	9	25	9	19	16	6
四国	8	7	5	10	7	4	10	14	1	7	12	1	9	8	4	8	11	1
九州・沖縄	20	41	25	47	34	5	19	38	19	47	32	6	20	37	21	37	40	9

※各年:20代には19歳を含む

※2017年調査:「北陸甲信越・男性」「首都圏・男性」「首都圏・女性」「東海・女性」「関西・男性」に結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1～2サンプルあり、年齢別分析では除いている

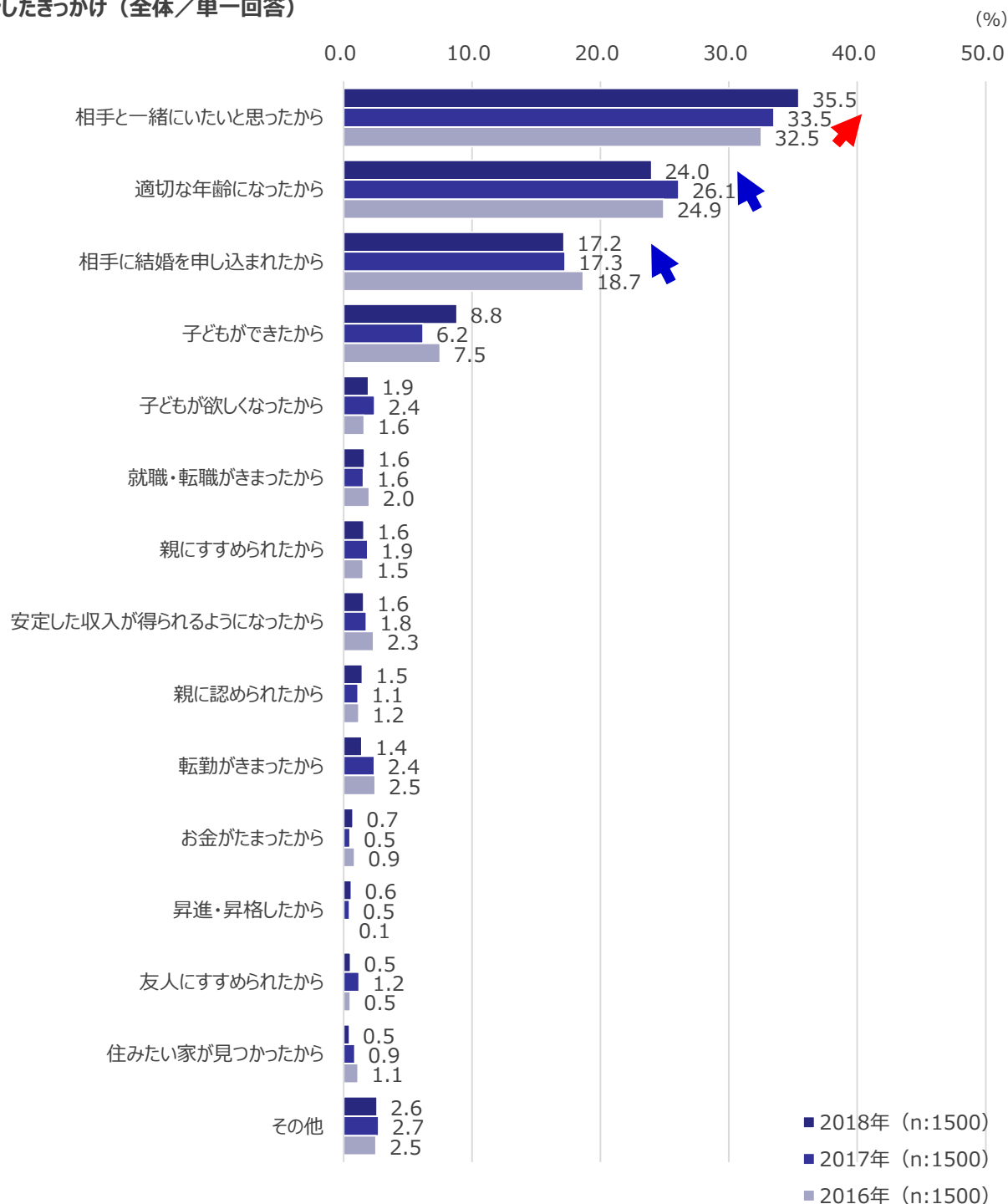
※2016年調査:「北関東・男性」「首都圏・男性」「中国・男性」「九州・沖縄・男性」に結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1サンプルあり、年齢別分析では除いている

※2015年調査:「関西・男性」「北関東・女性」に結婚時の年齢が不明だったサンプルが各1サンプルあり、年齢別分析では除いている

結婚したきっかけにおいて、「適齢期」や「相手からの申し出」など受動的な理由よりも、「相手と一緒にいたい」などの自分の意思により、結婚を決める人が増加傾向

➤ 結婚したきっかけの上位3項目は、「相手と一緒にいたいと思ったから」（16年 32.5%／17年 33.5%／18年 35.5%）、「適切な年齢になったから」（16年 24.9%／17年 26.1%／18年 24.0%）、「相手に結婚を申し込まれたから」（16年 18.7%／17年 17.3%／18年 17.2%）。

■結婚したきっかけ（全体／単一回答）



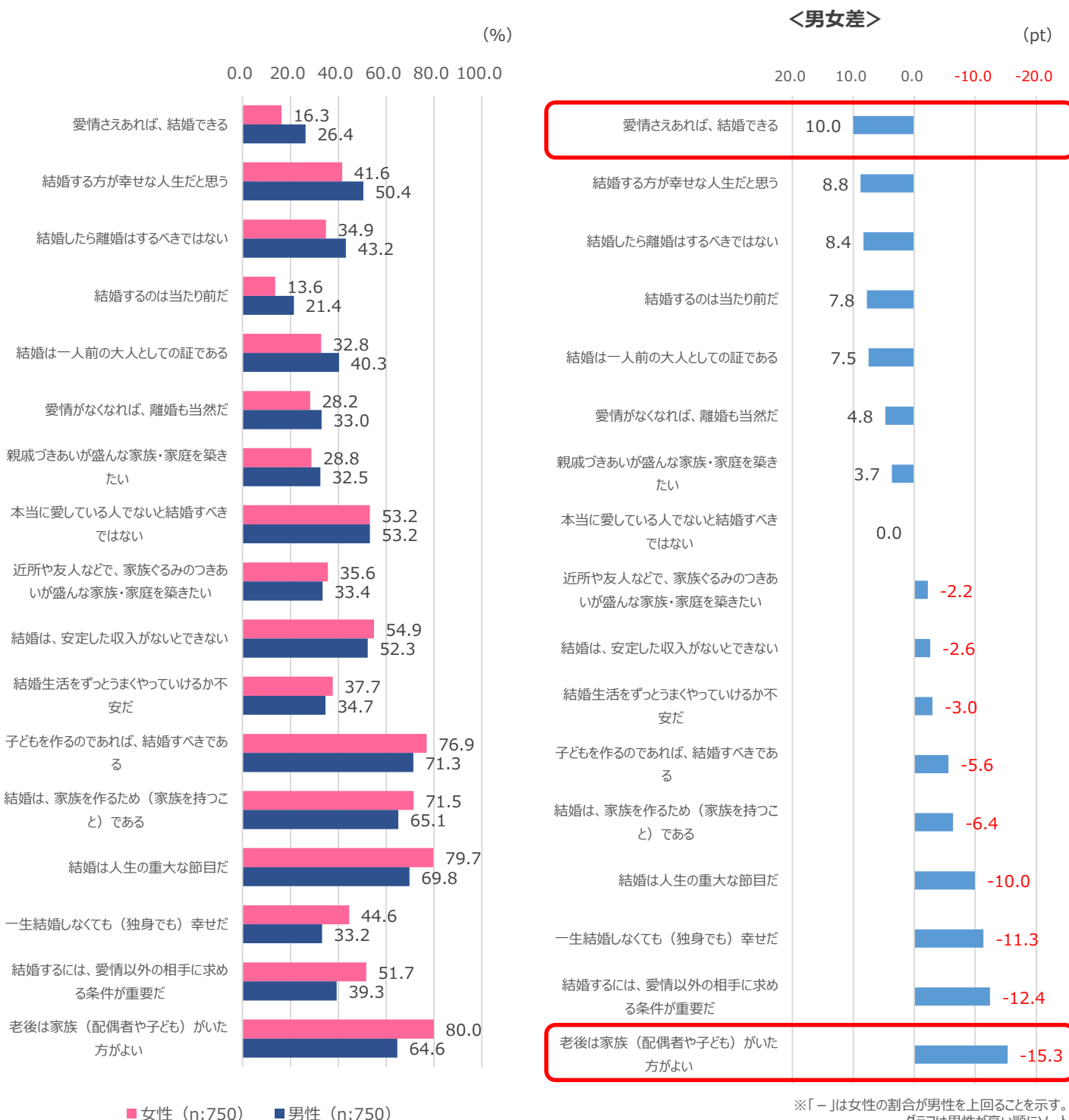
※2018年の降順にソート

結婚に対する考え方(男女別)

結婚に対する考え方において、男女で考え方に違い。男性は「夫婦間の愛情の形」であるとする割合が女性よりも高く、女性は「人生や家族形成」であるとする割合が高い

- 結婚に対する考え方において、「愛情さえあれば、結婚できる」は男性が26.4%、女性は16.3%で男性の方が10.0ポイント高い。一方で、「老後は家族（配偶者や子ども）がいた方がよい」が男性が64.6%、女性が80.0%で、女性の方が15.3ポイント高い。

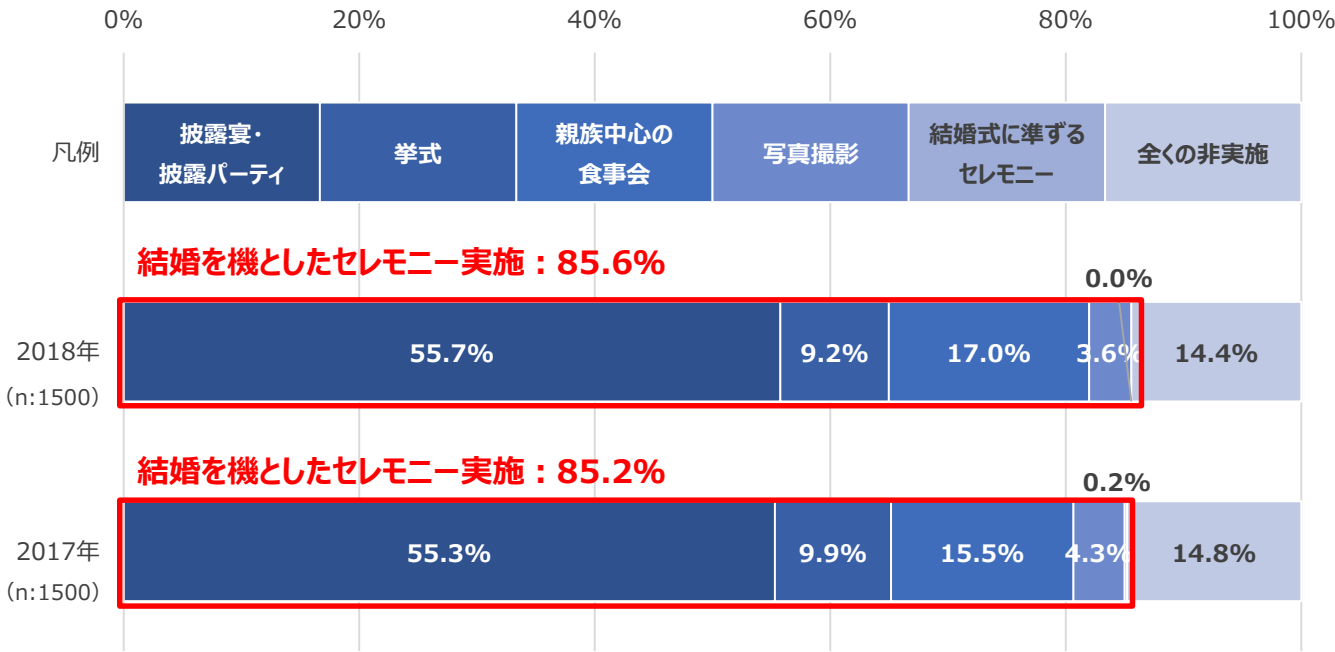
■結婚に対する考え方（男女別／各項目それぞれ単一回答／「大変そう思う」「ややそう思う」・計）



85.6%は「結婚を機としたセレモニー」を実施し、「全くの非実施」は14.4%にとどまる

➤ 結婚を機としたセレモニー実施割合は85.6%（披露宴・披露パーティ：55.7%、挙式：9.2%、親族中心の食事会：17.0%、写真撮影：3.6%）。

■結婚を機としたセレモニー実施状況（全体／単一回答）



- 披露宴・披露パーティ実施者：「披露宴・披露パーティ実施かつ、挙式、親族中心の食事会、写真撮影、結婚式に準ずるセレモニーのいずれか、あるいはすべて実施」と「披露宴・披露パーティのみ実施」
- 挙式実施者：「挙式実施かつ、親族中心の食事会、写真撮影、結婚式に準ずるセレモニーのいずれか、またはすべて実施」と「挙式のみ実施」
- 親族中心の食事会実施者：「親族中心の食事会実施かつ、写真撮影あるいは結婚式に準ずるセレモニーのいずれか、または両方実施」と「親族中心の食事会のみ実施」
- 写真撮影実施者：「写真撮影実施かつ、結婚式に準ずるセレモニー実施者」と「写真撮影のみ実施者」
- 結婚式に準ずるセレモニー実施者：「結婚式に準ずるセレモニーのみ実施者」

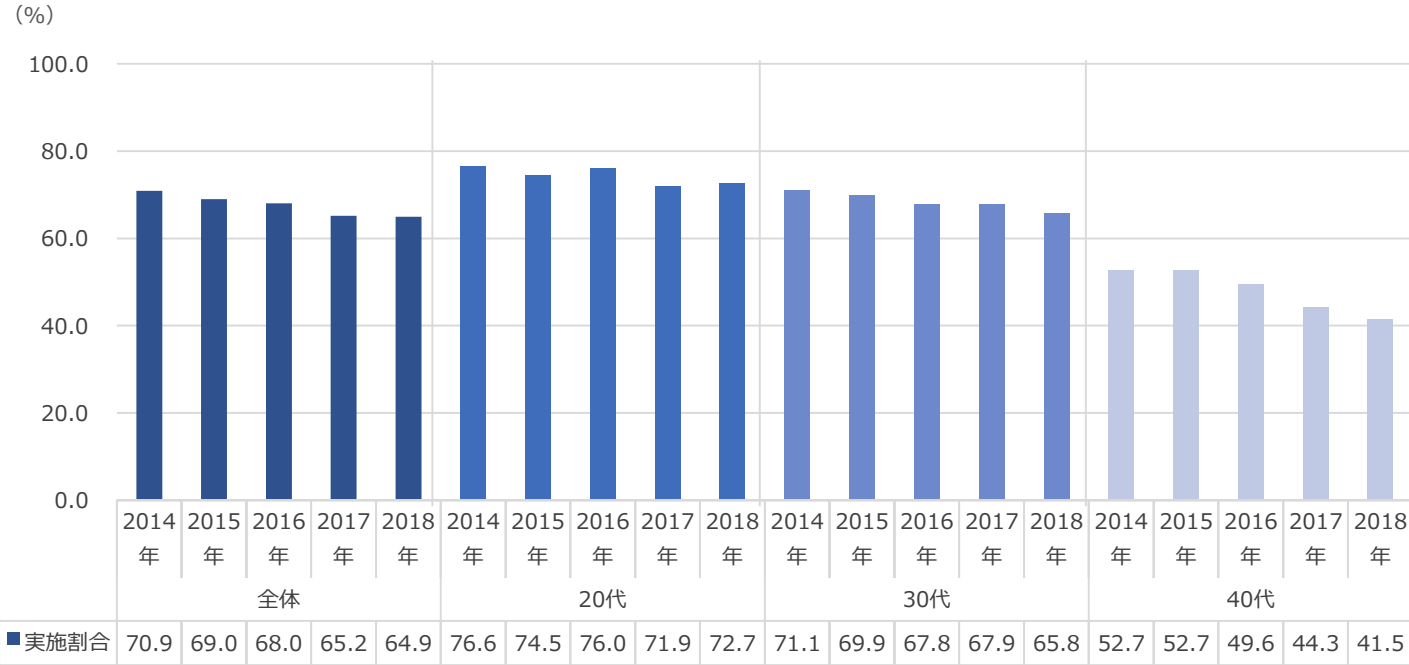
※2018年の「披露宴・披露パーティ」は「親・親族のみの披露宴・披露パーティ」と「友人・知人を含めた披露宴・披露パーティ」の合算値

挙式、披露宴・披露パーティの実施割合（本人結婚時の年代別）

挙式、披露宴・披露パーティ実施割合は64.9%。結婚時の年代が低いほど実施する割合が高い

➤ 挙式、披露宴・披露パーティ実施割合は64.9%。20代は72.7%、30代は65.8%、40代は41.5%。

■ 挙式、披露宴・披露パーティ実施割合（全体・結婚時年齢別／単一回答）



(※) 20代には19歳も含む
(※) 実施割合＝挙式、披露宴両方またはいずれか実施者

■ 挙式、披露宴・披露パーティの実施状況（全体・結婚時年齢別／単一回答）

(%)

		全体					20代					30代					40代				
		2014年 (1498)	2015年 (1500)	2016年 (1500)	2017年 (1500)	2018年 (1500)	2014年 (641)	2015年 (588)	2016年 (559)	2017年 (561)	2018年 (601)	2014年 (651)	2015年 (671)	2016年 (701)	2017年 (667)	2018年 (659)	2014年 (205)	2015年 (239)	2016年 (236)	2017年 (266)	2018年 (232)
実施割合	挙式、披露宴・披露パーティともに実施	60.3	58.9	57.7	53.6	53.9	67.6	67.0	69.6	64.0	62.2	60.5	58.1	55.3	53.9	54.8	37.1	41.0	36.4	31.4	30.2
	挙式のみ実施	8.4	9.3	9.3	9.9	9.2	7.6	7.3	5.9	7.3	9.0	7.7	10.7	11.3	12.2	9.3	13.2	10.0	11.4	9.2	9.2
	披露宴・披露パーティのみ実施	2.2	0.8	1.0	1.7	1.8	1.4	0.2	0.5	0.6	1.6	2.9	1.0	1.1	1.8	1.7	2.4	1.7	1.7	3.7	2.0
挙式、披露宴・披露パーティともに非実施		29.1	31.0	32.0	34.8	35.1	23.4	25.5	24.0	28.1	27.3	28.9	30.1	32.2	32.1	34.2	47.3	47.3	50.4	55.7	58.5

※（カッコ）内はn数

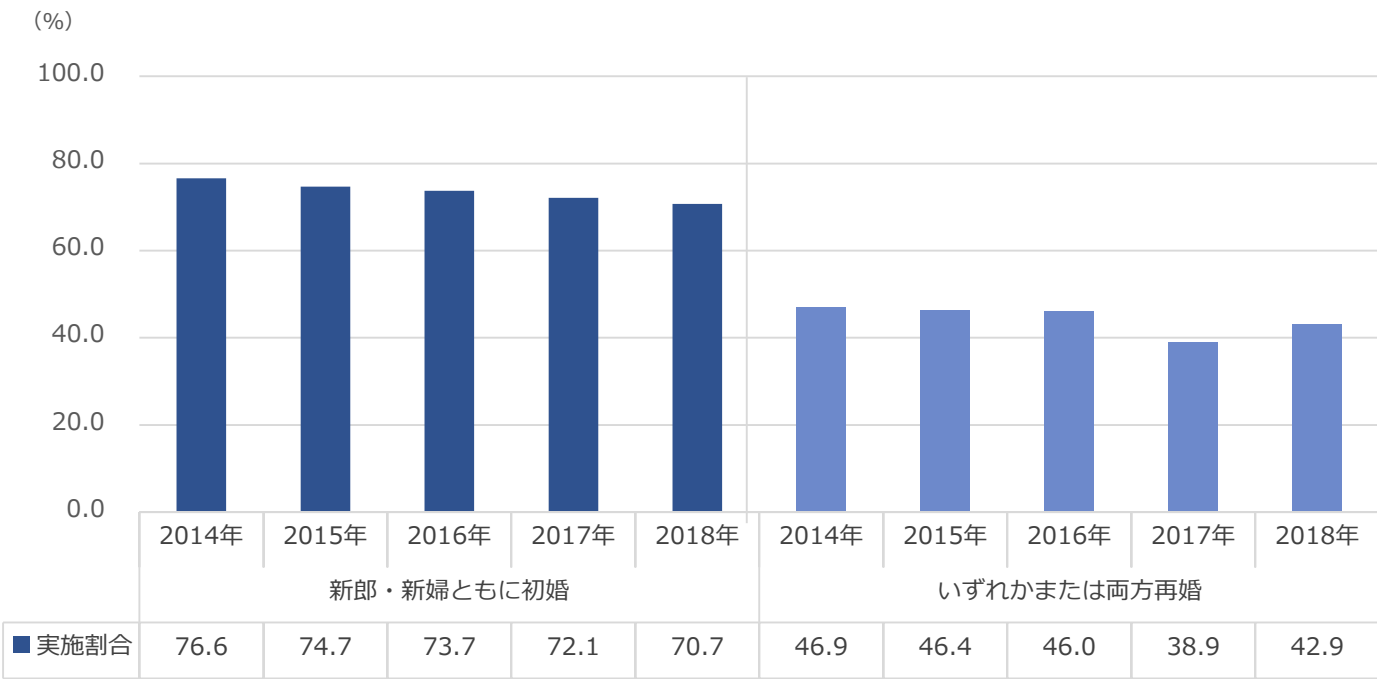
※2018年の「披露宴・披露パーティ」は「親・親族のみの披露宴・披露パーティ」と「友人・知人を含めた披露宴・披露パーティ」の合算値

挙式、披露宴・披露パーティの実施割合（初再婚別）

再婚層の約4割は挙式、披露宴・披露パーティを実施

➤ 「新郎・新婦ともに初婚層」の挙式、披露宴・披露パーティの実施割合は70.7%、「いずれかまたは両方再婚層」の実施割合は42.9%。

■ 挙式、披露宴・披露パーティ実施割合（初再婚別／単一回答）



(※) 実施割合＝挙式、披露宴両方またはいずれか実施者

■ 挙式、披露宴・披露パーティの実施状況（初再婚別／単一回答）

(%)

		新郎・新婦ともに初婚					いずれかまたは両方再婚				
		2014年 (1212)	2015年 (1198)	2016年 (1191)	2017年 (1186)	2018年 (1188)	2014年 (286)	2015年 (302)	2016年 (309)	2017年 (314)	2018年 (312)
実施割合	挙式、披露宴・披露パーティともに実施	66.7	65.2	64.0	60.8	59.8	32.9	34.1	33.7	26.7	31.7
	挙式のみ実施	8.1	8.8	8.8	9.9	9.3	9.8	11.3	11.0	9.7	9.0
	披露宴・披露パーティのみ実施	1.7	0.8	0.9	1.4	1.7	4.2	1.0	1.3	2.5	2.2
挙式、披露宴・披露パーティともに非実施		23.4	25.3	26.3	27.9	29.3	53.1	53.6	54.0	61.1	57.1

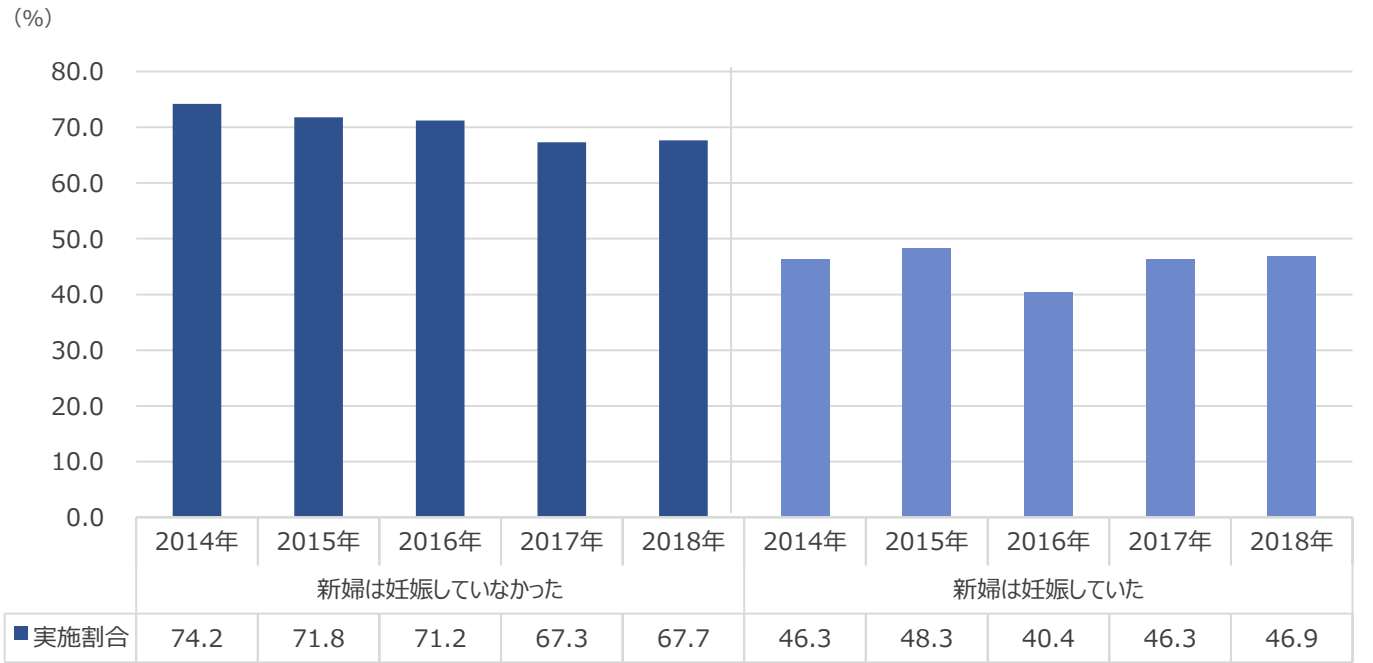
※（カッコ）内はn数

※2018年の「披露宴・披露パーティ」は「親・親族のみの披露宴・披露パーティ」と「友人・知人を含めた披露宴・披露パーティ」の合算値

妊娠層の半数近くは挙式、披露宴・披露パーティを実施

➤ 結婚を決めた当時、「新婦は妊娠していなかった層」の挙式、披露宴・披露パーティ実施割合は67.7%、「新婦は妊娠していた層」の実施割合は46.9%。

■ 挙式、披露宴・披露パーティ実施割合（結婚を決めた時の妊娠状況別／単一回答）



(※) 実施割合＝挙式、披露宴両方またはいずれか実施者

■ 挙式、披露宴・披露パーティの実施状況（結婚を決めた時の妊娠状況別／単一回答）

(%)

		新婦は妊娠していなかった					新婦は妊娠していた				
		2014年 (1321)	2015年 (1322)	2016年 (1344)	2017年 (1346)	2018年 (1301)	2014年 (177)	2015年 (178)	2016年 (156)	2017年 (154)	2018年 (199)
実施割合	挙式、披露宴・披露パーティともに実施	63.1	61.3	60.0	55.4	56.1	39.5	41.0	37.8	37.7	39.6
	挙式のみ実施	8.9	9.6	10.1	10.2	9.7	4.5	6.7	1.9	7.0	5.6
	披露宴・披露パーティのみ実施	2.2	0.8	1.0	1.7	1.8	2.3	0.6	0.6	1.6	1.6
挙式、披露宴・披露パーティともに非実施		25.8	28.2	28.8	32.7	32.3	53.7	51.7	59.6	53.7	53.1

※（カッコ）内はn数

※2018年の「披露宴・披露パーティ」は「親・親族のみの披露宴・披露パーティ」と「友人・知人を含めた披露宴・披露パーティ」の合算値